

つるた町民ライブラリー

コロナ禍で様々な活動が制限される昨今。この企画では、「ヒト・モノ・コト」を繋げるため、私（地域おこし協力隊：川口）が、鶴田町で活動する「人材＝人財」（個人・企業・団体）をピックアップして「よそ者」目線で人物像を掘り下げ、不定期でご紹介します！今回は鶴田町在住で写真家として活躍される齊藤崇さんにお話を聞いてきました。

「写真家になって鶴田町で生きています」

VOL. 5

フォトグラファー（写真家）

齊藤 崇さん



◆写真家のお仕事について教えてください

主な依頼は、企業さんの商品写真、ホームページやパンフレットに使うプロフィール写真、雑誌の取材、イベントの取材などでの撮影です。イベントはお祭りのようなものから成人式、卒業式、プライダルや遺影、冠婚葬祭まで幅広くご依頼をいただきます。

◆写真家として活動するきっかけを教えてください

社会に出て最初の職業はとび職だったのですが、その頃は絵を描くことが趣味で、仕事の合間に絵を習いに行ったり、頼まれて似顔絵を描いたりしていましたが、絵を描く材料として写真を撮り始めているうちに、写真の魅力にぐいぐい引き込まれていきました。ちょうど流行し始めたSNSをきっかけに、すでに活躍していた写真家さんのアシスタントにスカウトされました。そこから徐々に活動のメインが写真になり、アシスタントが終わるタイミングでカメラマンとして独立しました。



◆写真を撮るときに大切にしていることは？

被写体が人やお客様の場合は、撮影される側の気持ちのコンディションを大切にしています。撮られると思うとどうしても固さが出てくるので、会話や雰囲気作りで撮影自体を楽しんでもらえるよう自然体の写真を撮れるように心がけています。依頼内容にもよりますが、自然体の写真と決め顔の写真を比べてみると、自然体の方がいいということも多いです。あとは、技術的な話になりますが、余白の取り方が重要で、切り取り方や画角を微調整するときに必要なので気を使いますね。チラシやパンフレット制作では、カメラマンの仕事の後にデザイナーがいたりしますので、デザイン作業に幅を持たせるためにも多めに余白を取っておきます。

◆『ふるさと自慢わがまちCM大賞』では動画撮影も担当されていますが、動画と写真の違いを教えてください

写真には前後のストーリーや躍動感なども表れる決定的な一枚で切り抜く必要があります。映像では動きや感情を時間の余白を意識しながら魅せ方を考えなければいけません。作業は似ているようで、大切な部分が違



△齊藤さんの撮影した作品

いますので、それぞれにスペシャリストがいます。僕は写真家ですので写真を撮る方が得意なように、写真家が撮った映像は動画のプロにはすぐにバレますし、逆も然りです。CM大賞は指揮してくれる方がいるので動画でも撮りやすいですね。今回で3回目の参加ですが、CMとして放送されるのが楽しみです。

◆一般の会社員とは違う働き方をする先輩として、若者に進路選択のアドバイスなどあれば教えてください

フリーランスとして大事ななのは、『好きなものを嫌いになる覚悟があるか』ということです。フリーランスの良い点は、自分で時間を管理しながら好きなことに没頭できることですが、逆に商売として考えたときに自分を曲げなければいけない場面も出てきます。写真を撮ることはもちろん好きですが、自分の好みのベストショットがクライアントの希望と違う場合もあります。覚悟を決めたら、経験者の話を聞いたり、しっかりと下調べをして気持ちや気持ちを固めてみるのと良いと思います。余談ですが、僕がカメラマンになって一番の悩みは、カメラやパソコンなど機材の進歩のスピードと金額についていくので精いっぱいなことですね。

◆最後に、鶴田町を活動拠点にしている理由を教えてください

写真クラブがあるというのも理由の一つですが、やはり自分の生まれ育った町なので、地元貢献したいという想いが大きいです。弘前方面でも仕事が増えていますが、見知った風景や馴染みの人を写真に収めるのはやりがいがあります。撮影はいつも本気ですが、鶴田町での撮影は特別に気持ちが乗りやすいです。鶴田町にいたからこそ撮れた写真もあると思うので、これからも自分の地元に対する想いを大切にしていきたいです。

編集後記

カメラマンやデザイナーなど、他の職業に比べるとうやうやその職につくのか、どうやって生業として成立しているのかわかりにくい部分もあると思います。齊藤さんのお話を伺うと、やりたいという気持ちがあれば、やり方は人それぞれでも自己実現は可能なのだな、と思います。特に進路や将来のことで岐路に立つ学生さんにも今回のインタビューは読んでほしいです。テクノロジーが発展したおかげで、やり方次第では鶴田町でも様々な職業で活躍できると思います。齊藤さんが撮影した鶴田町のCMは今年の12月30日の13時からABAの放送でご覧いただけます。ぜひご視聴してみてください。

Life with photographs COLORS

Photographer Takashi Saito サイトウタカシ
TEL : 090-2792-9959
MAIL : mame2697@gmail.com

編集・発行 鶴田町役場企画観光課
令和3年12月15日発行 第734号

〒038-3595
青森県北津軽郡鶴田町大字鶴田字早瀬200の1
TEL: 0173 (22) 2111 FAX: 0173 (22) 6007
Eメール: tsu_info@town.tsuruta.lg.jp

鶴田町ホームページ
http://www.town.tsuruta.lg.jp/
鶴田町観光ウェブマガジン「メディア・ツルタ」
http://www.medetai-tsuruta.lg.jp/